甲信ユニットセンター（山梨大学）

実施体制

現参加者数（子ども）　3,934名

調査対象地域

山梨県
- ◆甲府市
- ◆中央市
- ◆山梨市
- ◆甲州市
- ◆富士吉田市

山梨大学大学院の附属機関として、2011年に「出生コホート研究センター」が設置され、医学部の複数の講座と連携して、山梨県内におけるエコチル調査を実施しています。

スタッフは教員6名、リサーチコーディネーター7名、事務職員6名の計19名。そのほとんどが参加者リクルートの時からのメンバーで、調査業務を通して、お子さんたちの成長を見守っています。

参加者とのコミュニケーション活動

カードゲーム「moritomirai」体験授業の実施

森林資源の現状と活用について学ぶカードゲーム「moritomirai(モリトミライ)」の体験授業をエコチル調査の対象地域の小学校で実施しました。

このカードゲームは、山梨日日新聞社が「やまなしSDGsプロジェクト」の一環として開発・展開しているもので、参加者はまちの住民になり、経済活動と森林資源の活用の両立を目指します。ゲームを通して環境について考えるとともに、エコチル調査についても知ってもらう機会になれば、と、2024年10月から11月にかけて下吉田東小・塩山南小・甲府東小・玉穂南小・甲府池田小で体験授業を実施し、269人に参加してもらいました。

子どもたちはゲームを楽しみながら、自分たちの生活と森林資源の関わりについて学びました。また、授業の最後に資料を配布し、エコチル調査について紹介させてもらいました。

この取り組みは2025年も継続する予定です。

ニューズレター「こぴっと通信」の発行

エコチル調査の進捗状況や研究成果を紹介するとともに、イベント報告やスタッフのコラム、子どもの健康や環境に関する情報を発信するツールとして、手作りの情報誌を年に1回発行しています。

また、2024年8月には「こぴっと通信」号外として、A4版はがきで13歳以降の調査継続手続きや質問票への回答、乳歯調査への協力などを呼びかけました。

中学校入学記念品の贈呈

13歳以降の調査継続に同意してくれた参加者さんに、中学校入学記念品として蛍光ペンセットを贈っています。

お祝いの手紙では、Web質問票の配信スケジュールやポイントのご案内などを明記し、調査への協力を呼びかけています。

小学6年生 学童期検査と総合健診

2023年7月から、小学6年生になったお子さんを対象とした学童期検査がスタートし、身体計測や発達検査、採血を行っています。

山梨大学では追加調査として、学内10講座が連携し、「総合健診」も実施しています。独自調査として重心動揺計や経皮的AGEs（終末糖化産物）の測定、歯科健診、眼科健診などを行い、健診結果を当日、お返ししています。

13歳以降の調査継続について

エコチル調査が13歳以降も続いていくことが決まり、お子さんが小学6年生になったご家庭から、エコチル調査アプリのダウンロードなど、調査を継続するための準備をお願いしています。

エコチルやまなしでは、0歳～12歳までの6人の子どもたちで構成していたオリジナルキャラクターの「ぽこっち」に、新たに男子中学生と女子高校生のキャラクターを作成し、ホームページやニューズレターで調査の継続参加を呼びかけています。

また、小学6年生学童期検査の待ち時間にアプリのダウンロードやログインのお手伝いをして、継続を推進しています。

スタッフがブログを発信

エコチルやまなしのHPでは、リサーチコーディネーターや事務スタッフが、自分たちの子育ての体験談や日頃感じていることなどを題材にしたブログを発信しています。